INFORMATION

令和７年度 地域で活躍する人材を育成するための研修会

みんなの当たり前は自分の当たり前？
～身近にある「はて？」を探そう～

私たちの暮らしの中に潜んでいる「根拠のない当たり前」や「無意識の思い込み」について気づき、より良い人間関係を築くためのヒントを一緒に考えます。

■日時：８月 31 日（日）10:00～12:00
■会場：横手市交流センターY2 ぷらざ３階
（サテライト会場）
■講師：松坂 憲男さん(あきたＦ・Ｆ推進員/
北部男女共同参画センター センター長)
■参加費無料：どなたでもご参加いただけます
※北部男女共同参画センターからの配信を視聴する講座です。

令和７年度
女性の管理職やリーダーを育成するための研修会

女性管理職が強化したいスキル実践編
「私らしいリーダーシップとは」

管理職やリーダーに必要なスキルについて学ぶ内容です。

■日時：９月 12 日（金）14:30～16:30
■会場：花火伝統文化継承資料館はなび・アム
（大仙市大曲大町 7-19）
■講師：麓 幸子さん
（作家/元日経ウーマン編集長/あきたＦ・Ｆ推進員）
■参加費無料
■参加対象者：現在管理職やリーダーをしている、または目指している方

講座申込･問合:**秋田県南部男女共同参画センター**/電話:**0182-33-7018**/E-mail:**sagec-7002@abelia.ocn.ne.jp**

「原爆の絵」展示
新日本婦人の会

期間：８月 10 日（日）～24 日（日）
場所：センターオープンスペース

広島の高校生と被爆体験証言者が共同で制作した原爆の絵を展示します。原爆投下から 80 年、平和について一緒に考えてみませんか。

県の記念日

1871 年（明治４年）の廃藩置県によって秋田県が誕生した８月 29 日を記念して 1965 年（昭和 40 年）に制定されました。令和７年で 154 歳を迎えます。８月 30 日（土）31 日（日）は研修室利用が無料になります。事前予約が必要です、ご希望の方はセンターへお電話ください。（31 日（日）９時～12 時空きがあります）

相談先一覧

ひとりで悩まないで
相談してください

●生き方、職場や家庭、人間関係などについて
ハーモニープラザ相談室
☎018-836-7846
（10:00～17:00）
（木曜・日曜・祝日除く）
・男性の悩み相談
毎月 第２・ 第４土曜
13:00～16:00
男性相談員がお聴きします
・こころの相談
偶数月 第２水曜
11:00～14:00
・法律相談
奇数月 第２水曜
13:00～14:00

研修室使用料の支払いにキャッシュレス決済が利用できます

現金以外のクレジットカード・電子マネー・QR コードでの支払いが可能になりました。詳細は職員にお尋ねください。

開館カレンダー

赤色日/休館日
青色日/9：00～17：00　黒色日/9：00～18：00

9 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

編集後記　センターで展示中の「原爆の絵」は言葉に表せないくらい悲惨な様子が描かれています。最近「終末時計」というものがあると知りました。核使用の恐れや気候変動の進行、人工知能の兵器利用のリスク等から割出された人類の残り時間だそうです。何気ない日常の有難さを感じます。（小山）

あなたの“いきいき”応援します。

きらめき

秋田県南部男女共同参画センター通信　★第１３６号

発行　２０２５年　８月

秋田県南部男女共同参画センター
（愛称：南部ハーモニープラザ）
〒013-0046 秋田県横手市神明町１－９
TEL.0182-33-7018　FAX.0182-33-7038
http://www.akita-south-jender.org/
E-mail　sagec-7002@abelia.ocn.ne.jp

秋田県男女共同参画推進事業

ハーモニーフェスタ 2025　EVOLUTION 想いつなげて共同参画
秋田県男女共同参画社会づくり表彰

〈６月 21 日（土）秋田看護福祉大学：大館市〉

令和７年度秋田県男女共同参画推進事業「ハーモニフェスタ 2025 EVOLUTION 想いつなげて共同参画」が開催され、秋田県男女共同参画社会づくり表彰が行われました。子育てを楽しむ父親が増えて欲しいとの思いから、親子で楽しめる様々なイベントやセミナーを開催している、横手市のパパ's サークルピーターパンがハーモニー賞を受賞。女性の活躍を応援するウェブサイトを運営し、県内で活躍する女性の紹介や女性起業家を主体としたマルシェを開催するなどの活動を行っている、秋田市の北林由貴子さんがチャレンジ賞を受賞されました。

左から、パパ's サークルピーターパン代表の長谷川さん
丹治秋田県理事、北林さん

基調講演では三浦太鼓店代表取締役社長の三浦彌市さんが太鼓店６代目として 19 歳で家業を受け継ぎ、伝統産業が抱える様々な課題や挑戦について話されました。パネルディスカッションでは「寛容な社会を目指して、私たちができること」と題して、さまざまな挑戦をしてきた３名のパネリストが登壇しました。

左から、加賀谷さん、大館市長、能登さん

パネリスト：石田健佑さん（大館市長）、能登祐子さん（能代市自治会連合協議会会長）、国見亮佑さん（(一社）にじいろほっかいどう理事長）
コーディネーター：加賀谷七重さん（あきたＦ・Ｆ推進員）

主催：秋田県/秋田県人権啓発ネットワーク協議会
実施団体：秋田県北部ＮＰＯ支援センター

男性の家事・育児と仕事の両立を促進するためのセミナー

あきた♡とも家事　夫婦でチャレンジ名もなき家事を攻略しよう
～「とも家事」で生み出す、家族みんなの Happy＆Smile～

〈７月 24 日（木）湯沢市役所 41 会議室　共催：湯沢市〉

講師に長谷川聖史さん（H＆S Creating Lab 代表/パパ's サークルピーターパン代表/あきたＦ・Ｆ推進員）を迎え開催しました。「あきた♡とも家事」宣言の目指すところや目標実現のために必要なこと、名もなき家事の攻略の秘訣について自身のとも家事実践も交えて講話されました。笑顔あふれる家事・育児のための３つのポイントとして、家事は得意なこと出来そうなことからチャレンジする、夫婦のコミュニケーションが大切、地域とのつながりが子どもを成長させると伝えました。また、父親が家事・育児に参画することでのメリット（お父さん効果）や、子育てが終わった後の夫婦関係（妻の夫に対する愛情の変化）について紹介しました。そして、産休・育休取得にあたっては職場の上司の理解が必要不可欠だと話されました。参加者アンケートでは、「バランスチェックシートで見える化したことで改めて妻への負担に気がついた」「たいてい自分でもできることばかり、でもやらない、これがよくない」「夫にも知ってもらうことが必要だと思った」など、気づきにつながったとの感想が多くありました。（担当 小山）

男女共同参画社会づくりに関する実践的な講座

男女共同参画は少子高齢秋田を変える“光”

〈7 月 28 日（月）仙北市役所角館庁舎 2 階会議室　共催：仙北市〉

佐々木尚毅さん（群馬県立女子大学名誉教授）を講師にお招きし、講演会『男女共同参画は少子高齢秋田を変える“光”』を開催しました。会場には仙北市内だけでなく市外からも沢山の方々にご参加いただきました。

「旧態依然とした男女の不平等」を切り口に、生きづらさの原因は何なのか現状を分析し、この時代を「へばなんとして楽しく生きていくか」話されました。日本の少子化は止まることはなく、絶対的人的不足を目前に必要な対策が採られたとしても効果が現れるのはかなり先になるという現実があります。講師はウィリアム・アーサー・ワードの「悲観的な人間は風が出てきたと嘆き、楽観的な人間は止むのを待つ。しかし現実的な人間は帆を調整するのだ」という言葉を引用し、

参加者を勇気づけました。あらゆる人が尊厳を持って対等平等に暮らせる包摂的社会をどう構築するか、男女共同参画の理解をどのように図っていくかが日本の、特に秋田の課題と話されました。参加者アンケートには、「ムラ社会からの脱却と、逆に土台を活かしたコミュニティの構築が大切だと感じました」「数字や資料を示してくださることでより課題がはっきり見えてきました」「ぜひ今後も連続講座をお願いしたい」などが寄せられました。（担当　伊藤）

●この講演会は、秋田県北部男女共同参画センターと大潟村役場をサテライト会場に 3 会場をオンラインでつないで開催しました。

男性の家事・育児と仕事の両立を促進するためのセミナー

男性のストレスマネジメント講座
男性学から紐解くジェンダーによるストレスからの解放

〈8 月 1 日（金）花火伝統文化継承資料館はなび・アム　共催：大仙市〉

講師に東洋学園大学専任講師で公認心理師の中村洸太さんを迎え、大仙市はなび・アムを主会場に、県北地域は北秋田市の社会福祉法人秋田県民生協会と中央地域は秋田市のホクシンエレクトロニクス株式会社をサテライト会場に、3 会場をオンラインでつないで開催しました。多数派であることの恩恵は自覚しにくい、男性自身は特権（労なくして得ることの優位性）を意識することは少ない。しかし、少数派となる苦悩（理想とされる男性像から逸脱を理由とした自己否定感、男性集団内でのからかいなど）があると説明されました。そして、メンタルヘルス面における代償として、「男性はこうあるべき」が無自覚に自分を追い込みがちな傾向にあり、男性自身がつらさや痛み、悲しみなどの感情的な表現を身につけていないことが多い。「助けを求めない、求められない」ことで男性の自殺率が高いことにも触れました。

また、自分の考え方の癖や性格パターンを知り、ストレスのサイン（精神面・身体面・行動）に気づき対処をしていくことが大切だと話されました。参加者アンケートでは、「考え方の癖は自分にも注意をしなければならないことがあると感じた、自分をもっと大事にしたい」「職場の問題の解決のヒントがもらえた気がします」「多数派側の人に聞いてもらいたい」など、多くの感想をいただきました。（担当　小山）

男女共同参画センター運営事業

利用者懇談会

〈7 月 23 日（水）南部男女共同参画センターオープンスペース〉

センター登録団体の代表者が集い、今年度事業の紹介と、センターの運営等に関して事前にいただいたご意見とご要望について回答しました。（右の内容）後半は「横手星の会」代表の永沢敏昭さんが団体の活動発表を行いました。また、懇談会では他団体の工夫や取組みに対するニーズなども聞くことができました。

センターに対する要望や意見

センター利用満足度　満足している 84%

【要望】センターからの会議の出欠確認やアンケートをメールや QR コードで対応してほしい。

【回答】早速次回から取り入れたい。

【提案】たくさん集まる時は駐車場の案内をしてほしい。

【回答】今回は駐車場が足りるのでお知らせをしなかったが、人数が多い時は事前に案内をしています。

【提案】団体の活動として集客が難しい。集客があればもっと研修室を利用できると思うので協力してほしい。

【回答】協力したい。体験会（無料の講座）を開催してみてはどうか。

自主事業　　秋田県男女共同参画推進月間

企画展示「女性が知っておくべき防災のことⅡ」

〈6 月 1 日（日）～6 月 30 日（月）南部男女共同参画センターオープンスペース〉

昨年の推進月間企画展示を更にバージョンアップして、いざという時に役立つ「百均で揃う防災ボトル」や防災食、段ボール製の「簡易トイレ」などのアイテムを展示しました。防災ボトルの内容や簡易トイレなどは、市内にある店で購入できることや値段も提示し、身近で揃えることが出来ることを紹介しました。また、羊かんなど賞味期限が長いものを防災食として展示、保存性の良い食べなれたものを少し多めに買い置きして、期限内に食べながら買い足すローリングストック法のやり方も紹介しました。観覧者に話を聞くとトイレ用品と防災食について関心があり、準備したいとの声が聞かれました。

男女共同参画センター運営事業

第１回　地域連携ネットワーク会議

〈5 月 28 日（水）南部男女共同参画センターオープンスペース〉

男女共同参画推進に関する情報交換と連携を図るため、センター登録団体の代表者とあきた F・F 推進員、市町村職員と県担当者、センター職員が一堂に会しました。センター登録団体の代表者とあきた F・F 推進員が活動等を紹介したほか、市町村とセンターの今年度の事業計画を説明しました。後半は、あきた F・F 推進員でパパ's サークルピーターパン代表の長谷川聖史さんが、県が昨年 12 月に宣言した「あきた♡とも家事」について講話し、「あきた♡とも家事」宣言の数値目標や家事分担することの大切さなどについて共有しました。